

町に元気を。

第7号  
令和4年 7月発行

発行:牛山基樹  
牛山もとき事務所  
〒399-0214 富士見町落合 9984-209  
TEL:090-5443-1243

# やる気、 元気、 もとき! の活動だより



富士見町議会議員

## 牛山もとき

これからの時代のために、  
町に元気を!

政治とは「志をもって、決めること。」

### ●コロナ後の復興は新しいまちづくりのチャンスでもあります。

1月初旬以降、オミクロン株の脅威は改めて社会生活に大きなダメージを与え、強くその影響が出ており議会宛にも切実な要望書が届きました。私は、「感染は止めるが社会は止めない。」そのために全身全霊で町の元気のために取り組んできました。今なお、新しい生活様式の中での社会づくりと、経済活動への挑戦が日々続いています。新たな社会構造への道筋は、今までと同じことを単に繰り返すことではなく、環境にも、人にも配慮した社会生活に向けて、重なり合うSDGs経営の視点から、より良い形での社会システムの再構築と、リカバリーが強く求められているわけです。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、町民の皆様のお声をお聴きして、新しい視点も取り入れながら、優しさと、強靭さを与えてまいります。

### ●感謝。新型コロナウイルス感染症第6波の最前線において…

長引く窮屈な生活を受け入れ「感染しない、感染させない行動」に取り組んでこられた町民のみなさま一人ひとりのご協力に、先ずもって感謝申し上げます。こどもとそのご家族、ご年配の方々に感染拡大の傾向がみられたリスクの最前線において、いつも以上にこどもたちに愛情をもって接してくださった保育士の皆さん。こどもの学びを守るために情熱を注いで下さった先生方。福祉関係の皆さんも緊張の中に本当にご苦労されたことだと思います。ブースター接種を控え医療提供体制の維持に携わる医療従事者のみなさんなど、衷心より御礼を申し上げます。第7波への備えもしっかりと進めます。

### ●今の暮らしも大切。10年後、20年後の町の在り方を考えることも大切。

将来に希望を持って、こどもや孫たちが安心して豊かに暮らすことが出来るようにするには、今の政治の積み重ねが大切です。「元気」「安心」「誇り」のあるまちづくりと一緒に考えましょう。



## 議 会

## その時議場では

## 1月11日 第520回 臨時会

副町長の選任について「不同意」しました。  
組織はポストが代われば新しい風が吹くものです。  
信念のもとに決めました。

## 2月17日 第521回 臨時会

太陽光発電設備の設置及び維持管理に関する  
条例の一部を改正する条例

町民の皆さんのがんばりが嬉しい議会となりました。私は改正条例に賛成しました。質疑では「事前計画時」の考え方、「同意」の判断基準、「連続する軽微な変更」の対処、「駆け込み案件」の取り扱いなどについて、町民の理解が深まるよう、そして全ての信頼関係が維持できるように細心かつ大胆に質問しました。討論では、再生可能エネルギーの普及が悪いわけではない。無秩序な開発によって、安心な生活環境の確保や、生物多様性の保全が後回しになってしまった事であること。条例による規制の強化は、今後の町としての明確なエネルギー戦略を問われている。そのこともお伝えしました。

詳細はコチラ



## 3月 定例会 第522回

息の長い子育て支援、  
「子ども・家庭相談係」新設にむけて

国は12月の補正予算からR4年予算を16カ月予算として、コロナ対策の速効性のある経済対策も兼ねて、成長と分配の好循環に人への投資を強化しました。超少子化はコロナの不安も起因しています。母子保健と児童福祉を縦割りすることなく、息の長い切れ目のない子ども相談と支援を一つの窓口で繋げるように強く提案しました。町は子ども課に何でも相談できる新しい係を新設しました。

## 6月 定例会 第523回

## 3市町村共同宣言に盛り込む「内容」こそが大切

昨年12月、ハケ岳西麓の豊かな自然環境と共生する未来に向けた共同宣言が、茅野市・原村・富士見町で発表されました。地方から環境や温暖化について声を上げることには大きな意義があります。しかしながら大切なのは箱に入れる中身です。実効性のある施策について提案しました。



## 今後の課題

## 町を強くする未来のキーワード

それは「エネルギー」と「農・食」の自給です。富士見町の総生産495億。(環境省、地域経済循環分析2018)再生可能エネルギーのポテンシャルは、富士見町で消費しているエネルギーの4.79倍もありますが、地域外に22億円のエネルギー代金として流出しています。地域内循環経済が益々大切です。

## 物価・値上がりの対策

値上がりが続きますが、賃金は上がりません。大変なところに対処療法的に補助金を配ることは、根本的な解決に繋がりません。依存型の社会から少しづつ自立分散型へシステムを変えていくことに補助金は使うべきです。身近なところから取り組んでいくエシカルな考えが未来を作ります。



## 地球温暖化対策「省エネ基準住宅補助充実」

難しいと考えず、建築関係や工務店さんに相談してみましょう。家の冷暖房に掛かるエネルギー消費を減らすように、断熱性が高いリフォームをすることでも効果があります。そして県は条件が揃えば新築150万円、リフォーム100万円の助成、町も上乗せの補助を予算化しています。ガラスをペアガラスにすることも大切な地球温暖化対策のひとつです。出来そうなところを支えることが大切です。



決意!

## 計画と実行の積み重ね

残りの任期も8ヶ月です。実行されない計画は意味を持ちません。計画は何を根拠に立てられたのか?計画に実行力はあるか?民間の視点で厳しく評価していきます。

※この報告書は政務活動費を一部使って発行しております。

皆さんの「困った」を自分ごとに…  
ご意見ご要望をお気軽に寄せ下さい!!  
FAX → 0266-62-7434  
メール → gsr01224@gmail.com